

職場のリスクアセスの実際 (マクロ編)

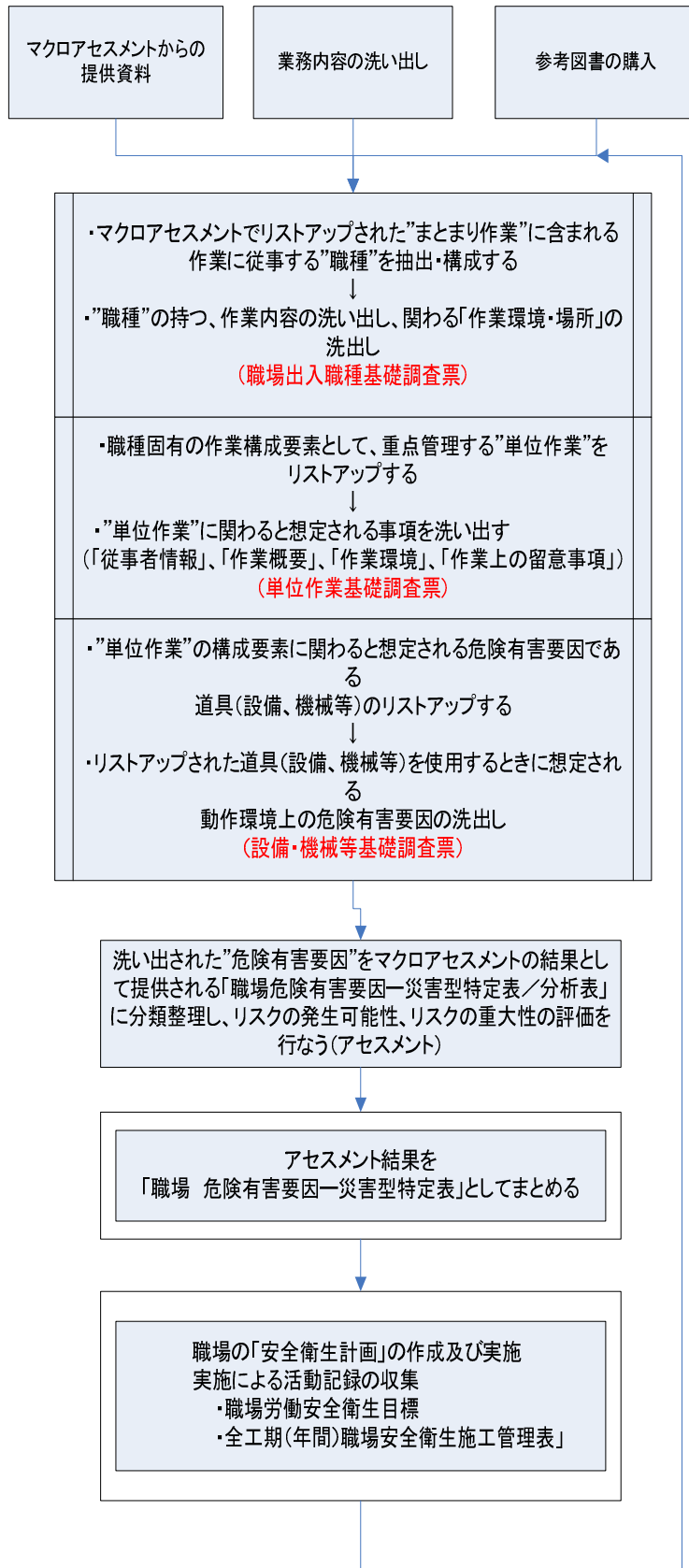


オフィスキャロット 編

発行日

平成25年4月1日

職場リスクアセスメントにおける”マクロとして”の実際



実際には、職種名は、業界内の自明の内容として活用することになる。

主に、作業環境、作業状況や作業状態及び関連職種、作業内容の抽出となる。

ここでは実際のアセスメント対象として、“危険源(危険有害要因)”を洗い出すことになる。

「職場 危険有害要因一災害型特定表」へ組み込むべく危険有害要因を選定することになる。

マクロアセスメントによる「危険有害要因一災害型特定表」と融合(合体)することになる。

PDCAの結果記録が対象となる。

初期導入時、新規事業時、見直し時
リスクアセスメント